

平成 27 年度 <外部専門員（臨床心理）夏季研修会>

## 「非行傾向のある生徒への対応について」



8月25日（木）に現：さいたま市スクールカウンセラー・スーパーバイザー（元：埼玉県警察サポートセンター長）湯谷 優（ゆたに まさる）先生、社会福祉法人 コロロ舎 相談役 金子 尚弘（かねこ なおひろ）先生をお呼びして「非行傾向のある生徒の対応」というテーマでご講演をいただきました。

臨床心理の立場から、非行問題の理解と対応という視点で、非行に奔る子供の行動背景を考慮に入れて指導することや、金品の持ち出しなど軽いと思われる行為であっても、簡単に見逃すのではなく、問題行動の表出した時に、きちんと見抜いて、継続した指導を行うことが重要であることなど、豊富な事例に基づいた解説をいただきました。湯谷先生はこの講演を通して「人の気持ちを聞かずに、自分がやりたいことをやる」これが犯罪の中核にある。当たり前の言葉のキャッチボールを低学年から家庭の中で積み上げることがとても大事だとお話しされていました。障害の有無にかかわらず、その子の行動特徴、興味の幅、物事の捉え方そして言葉のやり取りなど、日常の何気ない生活の中からのように一人の子供を見て接していくべきなのか、考え直すきっかけになりました。

また、後半の事例検討会では非行にかかわる案件についてケースを挙げ、事例研究を行い多角的な実態の捉え方を学びました。

（文責：専門性向上プロジェクト 神戸）